

きゅうしょくしつからのおしらせ

れいわ ねん
令和6年

10月23日(水)

きょうのもりつけ



ちよつとメモ

きょう 今日(きょう)は “栗(くり)” のお話(はなし)です。栗(くり)は、アーモンドと同じく、おな種子(たね)を食べるナッツ類(るい)の1つです。日本(にほん)にはシバグリという野生(やせい)の栗(くり)の木(き)が生えていて、縄文時代(じょうもんじだい)から食べられていました。栗(くり)は糖質(とうしつ)が多く、ビタミンB1、B2、Cが豊富(おほ)で、栗(くり)の成分(せいぶん)を生かす食べ方(た)としては “栗ごはん(くりごはん)” が一番(いちばん)だということです。給食(きゅうしょく)では生のむき栗(なまぐり)を買(か)って、栗ごはん(くりごはん)を炊(た)いています。大量(たいりょう)の栗(くり)をむくのはとても大変(たいへん)な作業(さぎょう)です。むいていただいた栗農園(くりのうえん)の方々(かたがた)にも感謝(かんしゃ)の気持ち(きもち)を込(こ)めて、残(のこ)さずいただきます。 ※うら面(めん)も見(み)てください。

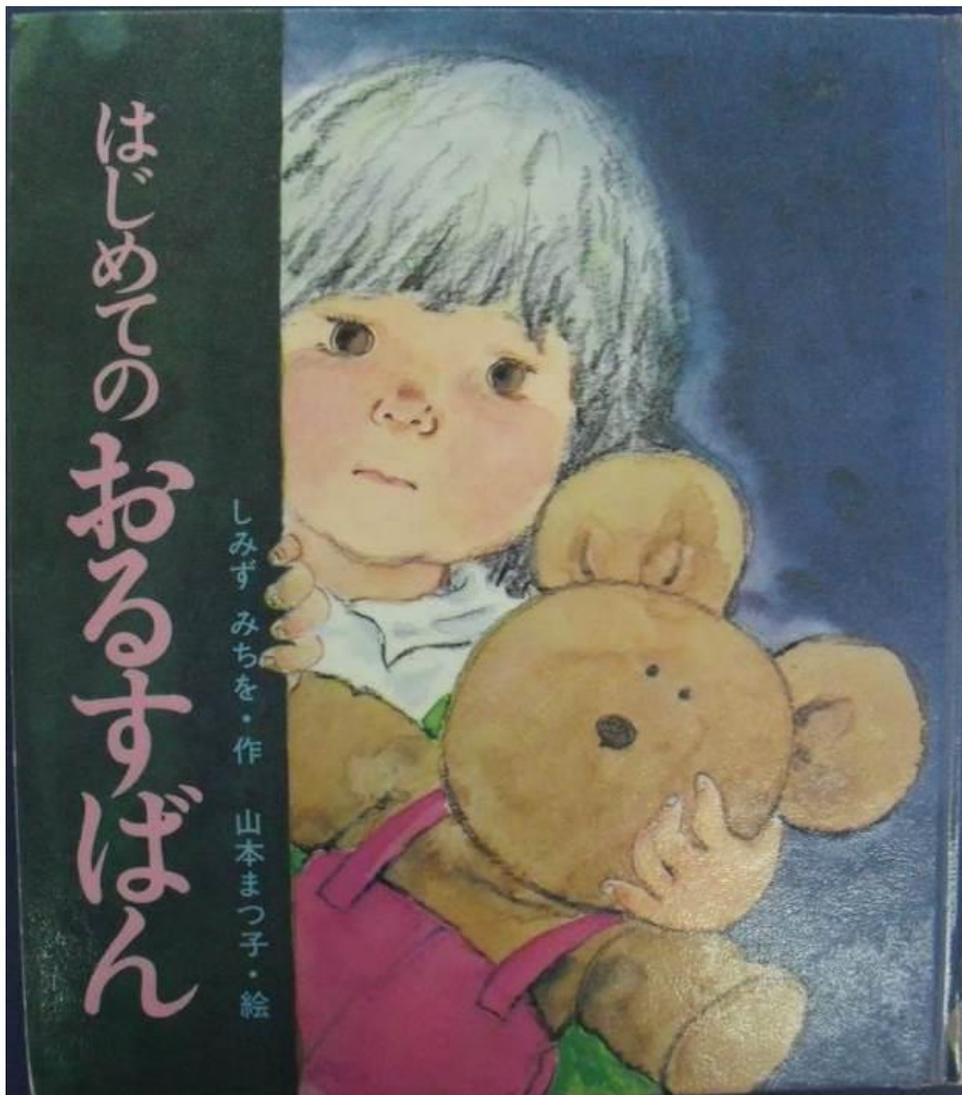


きょう 今日(きょう)は『はじめてのおるすばん』という本(ほん)から “栗ごはん(くりごはん)” を取り入(と)りました。

きょう ほんしょうかい
今日の本紹介

「はじめてのおるすばん」

みほちゃんがおるすばんをしていると「ぴん・ぽーん」。でもこわくてでることができません。さてどうなったのでしょうか？



ゆうびんやさんからの荷物にもつはいなかのおばあちゃんからの薬くすりでした。